



「今まで経験したことのない・・・」を乗り切る力

校長 高田 麻里

5月に5年生が三浦宿泊体験学習、6月には4年生の上郷宿泊体験学習と6年生の日光修学旅行がありました。校内ではできない体験を、その場所へ行って、実物を見ながら学ぶ機会となりました。安全に、かつ有意義に実施することができました。ご家庭からもご理解やご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、「今まで経験したことのない・・・」この言葉を聞くことは、めずらしくなくなりました。天災だけでなく、公共の場所で人をいきなり刺したり、警察官を襲ったり、至る所で「今まで経験したことのない」出来事が起きています。そのような時代に生きる子どもたちは、常に想像の域を超える課題に向き合わなければなりません。「どうして避難指示がもっと早く出なかったのか」などと言って人を責めても、命が失われてしまってからで取り返しがつきません。一人ひとりが自分で今できる精一杯のことを判断し、自分で自分の命を守る力を身に付けねばならないと思います。

では、そのような判断力はどうのようにすれば身に付くのでしょうか。それは経験です。初めて出会う出来事に対応する時に必要なのは、これまでの経験の積み重ねです。そこから推測して判断していくのです。だとしたら、たくさんの経験をして、たくさんの判断材料を持っているほうが望ましいといえます。

子どもたちには、多様な困難やトラブルも含めて経験させたいと思います。地震や台風なら過去の経験から防災備品を用意したり、逃げる手立てを予測したりすることができます。学校の中では心のトラブルも大切な経験です。子どものうちにけんかをするのも必要です。叱られたりすることも経験です。大人が守りすぎることは、子どもの学びの機会を奪うこととなります。

学校では安全・安心のための様々な指導を行っています。交通事故・不審者・火事・人間関係・SNS・食物アレルギー・地震・洪水・土砂災害など、命にかかわる危険は天災から人災までたくさんあります。全てのことに完璧な答えはありませんが、危険と隣り合わせだという意識を日頃から育てておくことは大切です。今月もよろしく願いいたします。